

個別施設計画
(その他施設 (職員宿舎))

平成 31 年 3 月
令和 2 年 3 月改正
令和 3 年 3 月改正
山梨県

目次

| | | |
|------|---------------|----|
| 1 | 目的・位置付け | 1 |
| 2 | 施設の状況・課題 | 2 |
| 3 | 今後の施設管理の方針 | 6 |
| 4 | 長寿命化に関する方針 | 7 |
| 5 | 長寿命化実施計画 | 9 |
| 6 | 長寿命化対策の実施効果 | 9 |
| <別紙> | 長寿命化実施計画（詳細） | 10 |
| <別表> | 施設の建築物等所有状況一覧 | 11 |

1 目的・位置付け

(1) 目的

県が管理・所有する公共施設について、将来的な活用を見据えた総合的かつ計画的な管理を推進するため「個別施設計画」を策定し、利用者の安全の確保とともに、長寿命化型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの削減、財政負担の平準化、及び施設の長寿命化を通じた県民サービスの向上を図ることを目的とする。

(2) 位置付け

本計画は、「山梨県公共施設等総合管理計画」に基づく施設類型ごとの個別施設計画(国の「インフラ長寿命化基本計画」に規定する「個別施設ごとの長寿命化計画」)である。

(3) 対象施設

| 大分類 | 中分類 | 小分類 | 施設番号、施設名称 | | 所管部局 |
|--------|---------|------------------|-----------|-----------------|-------|
| Ⅲその他施設 | 1 その他施設 | ①その他施設 (職員宿舎) | 480 | 東京事務所職員宿舎(野沢宿舎) | 知事政策局 |
| | | | 481 | 東京事務所職員宿舎(下馬宿舎) | |
| | | | 482 | 音羽職員宿舎 | 総務部 |
| | | | 483 | 富士吉田職員宿舎 | |
| | | | 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | |
| | | | 485 | 宮前職員宿舎 | |
| | | | 487 | 吉田地区教職員住宅 | 教育委員会 |
| | | | 488 | 上野原地区教職員住宅 | |
| | | | 490 | 都留地区教職員住宅 | |

※分類は「山梨県公共施設等総合管理計画」における施設類型

(4) 計画期間

平成30年度から令和9年度までの10年間とする。

ただし、計画期間の中間年を目途に、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととする。

2 施設の状況・課題

(1) 施設における建築物の所有状況

| No. | 施設名 | 宿舎 | 集会所 | 駐輪場 | 倉庫・ 車庫等 | 電気室・ 機械室等 | 合計 |
|-----|---------------------|----|-----|-----|------------|--------------|----|
| 480 | 東京事務所職員宿舎 (野沢宿舎) | 1 | | | 1 | | 2 |
| 481 | 東京事務所職員宿舎 (下馬宿舎) | 1 | | 1 | 2 | | 4 |
| 482 | 音羽職員宿舎 | 4 | 1 | 5 | 1 | | 11 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1 | | | | 1 | 2 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 2 | | 7 | 3 | 1 | 13 |
| 487 | 吉田地区教職員住宅 | 1 | | 2 | 1 | | 4 |
| 488 | 上野原地区教職員住宅 | 1 | | 1 | 2 | | 4 |
| 490 | 都留地区教職員住宅 | 1 | | | 1 | | 2 |

※詳細データは<別表>のとおり

(2) 施設の状態（老朽化状況）

1) 東京事務所職員宿舎

東京事務所職員宿舎（野沢、下馬）は、野沢が築47年、下馬が築55年の建造物で、耐震性を確保（平成24年度に耐震診断を実施）しており、経年劣化は見られるものの必要最低限の安全性は確保されている。

各施設とも建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、建築部位・設備の劣化状況に応じ、これまで屋上防水、外壁、空調設備、給湯器等の改修・更新を実施してきている。しかしながら、内部配管の老朽化を起因とする水漏れ（その都度修繕）も発生しており、今後、改修等を検討する必要がある。なお、大規模な修繕が必要となった場合は一時的に居住が困難となり、民間借り上げを行う必要がある。また、年々の修繕費用も増加傾向にある。

2) 職員宿舎

職員宿舎（音羽、富士吉田、メイプル飯田、宮前）は、新耐震基準により設計・施工された築年数20年前後の建築物であり、経年劣化は見られるものの必要最低限の安全性は確保されている。

各施設とも建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、建築部位・設備の劣化状況に応じ、これまで屋上防水、外壁、空調設備、給湯器等の改修・更新を実施してきている。しかしながら、内部配管の老朽化を起因とする水漏れ（その

都度修繕)や、建築設備等は前回の更新から10年以上が経過しており、更新を検討する時期に来ているものも見受けられる。

なお、宮前職員宿舎は外壁改修が未実施のため他の宿舎に比べ劣化が進んでおり、また、富士吉田職員宿舎は寒冷地にあることから結露を原因とするカビの繁茂が見受けられ、今後、それぞれ改修等を検討する必要がある。

3) 教職員宿舎

吉田地区については、新耐震基準により設計・施工された築20年の建築物であり、経年劣化は見られるものの必要最低限の安全性は確保されている。

上野原地区については、昭和56年に設置された築37年の施設であるため老朽化は進んでいるが、日常管理しているうえでは、大きな問題はない。

都留地区については、昭和48年に設置された築45年の施設であるため、老朽化はかなり進んでおり、維持管理に経費を要している。

各施設とも建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、建築部位・設備の劣化状況に応じ、これまで給湯器等の改修・更新を実施してきている。

(3) 施設の運営・利用状況

1) 東京事務所職員宿舎

東京事務所職員宿舎は、東京事務所職員や省庁、民間企業等への派遣研修生の東京都内における住宅として大きな役割を担ってきた。下馬宿舎は主に単身世帯向けの宿舎として11戸、野沢宿舎は管理職及び家族世帯向けの宿舎として6戸、計17戸を備えている。

東京事務所職員等、都内に居住する必要がある職員は、原則、当該宿舎に入居することとしているため、宿舎の入居率はほぼ100%で推移しており、宿舎の部屋数が不足する場合は、民間住宅を借り上げて対応している(令和2年度は12戸、令和元年度は9戸借り上げ)。

また、運営経費は、維持管理に必要な修繕が年々増加していることもあり、入居料収入を超過している。

2) 職員宿舎

職員宿舎は、職員の住宅不足に対応する福利厚生目的や勤務地を異にする人事異動への対応、国からの出向者・他県交流者への対応など人事政策的な目的のため、昭和41年4月以降、順次建設が進められ10箇所17棟329戸が整備され、人材の確保や円滑な人事異動、職員の住宅不足への対応などに大きな役割を担ってきた。

しかし、整備以降、道路網の整備・自動車社会の進展に伴う通勤事情の改善により県で住宅を確保する必要性が低下するとともに、個人の生活様式の多様化や民間賃貸住宅の供給による入居率の低下、施設の老朽化の進行等の理由から平成22年1月に「県職員宿舎の廃止・縮小計画」を策定し、人事政策上必要な戸数について確保し、福

利厚生目的のみに使用されている宿舎は廃止するものとして、昭和年代に建設された5宿舎を段階的に廃止してきており、現在は、平成年代に建設された5箇所9棟153戸を管理している。

各宿舎の平均入居率は、近年は70%程度（H29末：宮前63%、メイプル飯田71%、音羽77%、富士吉田53%）で推移しており、人事政策上一定の入居可能枠を確保しておく必要があることを考慮すると施設規模は過大な状況ではない。

また、運営経費は、維持管理に必要な修繕等を含め基本的に入居料収入で賄われており運営状況は概ね良好と言える。

3) 教職員宿舎

教職員住宅は、昭和40年代を中心に、教職員の住宅難を緩和し、通勤環境の改善を図るなど福利厚生の実現等を目的として整備され、教職員の住宅不足への対応などに大きな役割を担ってきた。

しかし、現在は良質な民間賃貸住宅が県内各地で供給されており、併せて、交通網も整備が進んでいることから、在勤地で住宅に不足が生ずるといった事態はなくなっており、当初の目的が希薄となってきている。

そのため、平成22年3月及び平成29年2月に開催した「教職員住宅の今後の在り方検討委員会」において昭和40年代に建設された4宿舎を段階的に廃止することを決定し、平成25年度末に甲府地区教職員住宅を、平成28年度末に富士吉田教職員住宅を、平成29年度末に大月地区教職員住宅をそれぞれ廃止し、現在は、3箇所60戸を管理している。

各宿舎の平均入居率は、近年は40～50%程度（H29末：吉田地区54%、上野原地区58%、都留地区12%）で推移しているが、都留地区は施設や設備の老朽化のため低調に推移している。

また、運営経費は、都留地区を除き、維持管理に必要な修繕等を含め基本的に入居料収入で賄われており運営状況は概ね良好と言える。

(4) 人口減少・社会環境変化に伴う利用者需要の動向

宿舎の需要については、県職員等の身分のある者を入居させることから少子化等による人口減少の影響を直接受けるものではない。

ただし、人口減少等を起因とする職員定数の削減がある場合は、入居対象母数が減少することはある。

また、組織再編や個人の生活様式の多様化に伴い、各施設の需要が増減する可能性がある。

(5) 今後の課題

1) 東京事務所職員宿舎

東京事務所職員宿舎は、人事政策的な目的のため活用されてきており、住居が不足する場合は民間借上げで対応するなど今後も高い需要が見込まれることから、引き続き同様の活用が必要であるものの、両宿舎とも築 50 年前後が経過し老朽化が顕著であることや間取り（3LDK・3DK・2DK）が現在の利用実態（単身者が多数）に合わなくなってきたことから、建替えを含めた老朽化対策及び間取りを含めた施設規模の適正化について検討する必要がある。

このため、平成 29 年度以降、建替え、民間借上げ、現状維持した場合の経費、適正な間取り等、宿舎のあり方について検討してきた結果、単純な建替えは財政的に困難であることから、PPP/PFI など民間活力を活用し、両宿舎を 1 つに集約したうえで建替えすることとした。

なお、施設の建替えに当たっては、民間活力を活用する中で、極力、県負担を削減する手法について検討していく必要がある。

2) 職員宿舎

各施設ともに築後 20 年前後が経過しており、今後、屋根、外壁といった建築部位に関する比較的大規模な改修の必要が生じてくる。このような状況下において、福利厚生目的の職員宿舎については、交通網の発展や多くの民間賃貸住宅が建築されており、県が管理する必要性は低下してきている。人事政策上の職員宿舎については、引き続き、人材の確保や円滑な人事異動を担保するため維持する必要がある。この考え方を基に、各宿舎の役割、利用状況等を踏まえ宿舎ごとに個別に検討する必要がある。

宮前職員宿舎及び職員宿舎メイプル飯田は、人事政策的な目的のため活用されてきており、入居率も低くなく、今後も同程度の需要が見込まれることから、引き続き同様の活用が必要である。

富士吉田職員宿舎は、富士・東部地域の所属への職員採用（配属）における人事政策上の要請から管理・運営されてきているものであるが、県庁（本庁舎）から遠方に設置されていることもあり、日常の管理・確認業務における機動性・効率性の面で課題が生じている。単身棟は、入居率も低くなく、今後も人事政策上、一定の需要が見込まれることから、引き続き同様の活用が必要であるが、所管部局において直接管理する方が効率的とも考えられるため、今後は入居者の状況を見ながら他部局への移管について検討していく必要がある。世帯棟も、単身棟同様、人事政策上、一定の需要は見込まれるものの、入居率はそれほど高くない。今後は、単身棟と併せて他部局への移管等について検討していく必要がある。

音羽職員宿舎は、比較的入居率も高く、建物も当分の間、比較的良好な状態を保てると考えられるものの、民間賃貸住宅が数多く所在する地域にあって、主に福利厚生目的で利用されているため、県が所有・管理する必然性は乏しく、今後の維持管理費等も踏まえ、廃止する方向で検討する必要がある。また、廃止の検討に当たっては、建

物も含めた民間売却等についても併せて検討していく必要がある。

3) 教職員宿舎

各施設ともに築後 20 年が経過しており、今後、屋根、外壁といった建築部位に関する比較的大規模な改修の必要が生じてくる。このような状況下において、福利厚生目的の教職員住宅についても、交通網の発展や多くの民間賃貸住宅が建築されており、県が管理する必要性は低下してきている。

「教職員住宅の今後の在り方検討委員会」においては、『原則として、今後は老朽化による大規模改修は行わない』とされているため、必要最低限の維持修繕をしながら、耐用年数の到来等、必要が生じた時点で段階的な廃止に向けた検討を始めることとしている。

3 今後の施設管理の方針

今後も継続して使用していく必要がある施設については、長寿命化事業（施設の使用年数を法定耐用年数を超えて延伸させる事業）を実施する。

長寿命化事業を実施しない施設は、従前どおりの維持管理を実施する。

なお、施設の照明設備の更新等は、「LED 照明導入方針」に基づき行う。

また、施設の改修費の総額が 10 億円以上となる場合は、「山梨県 PPP / PFI 導入指針」に基づき、PFI 等の導入を検討する。

各施設の管理の方針は次のとおり。

(1) 東京事務所職員宿舎

1) 東京事務所職員宿舎（野沢宿舎・下馬宿舎）

人事政策上、必要な施設であるものの、老朽化が顕著であることから、野沢宿舎に集約のうえ、PPP/PFI など民間活力を活用し建替えを実施する。

なお、建替えに当たっては、民間活力を活用する中で、極力、県負担を削減する手法について検討していく。

(2) 職員宿舎

1) 音羽職員宿舎

実質的に福利厚生目的の宿舎となっており、県が関与する必要性は低いことから廃止することとし、その時期は入居者への 3 年程度の周知期間を確保するため令和 5 年度末とする。

なお、廃止に当たっては、民間需要を見極めながら建物付きで売却することについて併せて検討していく。

2) 富士吉田職員宿舎

人事政策上、必要な施設であることから、長寿命化事業を実施する。

なお、所管部局については今後、検討していく必要がある。

3) 職員宿舎メイプル飯田、宮前職員宿舎

人事政策上、必要な施設であることから、長寿命化事業を実施する。

(3) 教職員宿舎

1) 吉田地区教職員住宅

吉田地区教職員住宅は、耐用年数の到来時期まで、あと「28年」と長期を要することから、現時点で今後の在り方を決定する必要性が乏しいことや今後、教職員住宅を取り巻く環境に変化が生じる可能性がある。

これらを踏まえ、「教職員住宅の今後の在り方検討委員会」において、『必要が生じた時点で検討を開始する』旨の結果が出されており、今後は、従来どおりの維持管理をしながら、施設の損耗状況やコスト、また、入居率などを踏まえ、検討委員会において検討していくこととする。

2) 上野原地区教職員住宅

上野原地区教職員住宅は、耐用年数の到来時期の令和9年度末であるため、耐用年数の到来まで今後、おおよそあと10年の期間がある。

また、入居率は、平成29年度は前年に比べ低下したものの、各教職員住宅で最も高いことを考慮すると、今後、数年程度、その推移を見定める必要があると考えられる。

これらを踏まえ、「教職員住宅の今後の在り方検討委員会」では、今後10年程度が経過する中で、教職員住宅を取り巻く環境に変化が生じる可能性なども考慮して、従来どおりの維持管理をしながら、耐用年数の到来時期が迫ってきた際に改めて、廃止等の方向性を決定することと結論づけているため、令和8年度には方向性を出すこととする。

3) 都留地区教職員住宅

「教職員住宅の今後の在り方検討委員会」において決定した『平成32年3月末の耐用年限の到来により、廃止すること』を基本方針として、耐用年限まで維持管理していくこととし、令和元年度末（R2.3.31）をもって廃止する。

4 長寿命化に関する方針

長寿命化対象施設のうち次表の建築物について長寿命化事業を実施する。

| No. | 施設名 | 長寿命化対象建築物 | |
|-----|------------|-----------|--------------|
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 |
| | | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 |
| | | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 |

長寿命化事業は、「県公共施設マネジメント実施方針」に基づき、目標使用年数 80 年に向け、計画保全部位・設備について計画的な改修を実施する。

なお、事業の実施に当たっては、「県建築物点検マニュアル」に基づき定期点検を実施し、施設の安全性や劣化度等を十分に考慮し改修箇所の優先順位づけを行う。

また、点検結果及び改修履歴は、保全マネジメントシステム（BIMMS）に記録し、計画的及び効率的な保全業務に活用する。

<参考> 保全管理の考え方（「県公共施設マネジメント実施方針」）

○管理分類ごとの保全方針

| 分類 | | 考え方 | 保全方針 |
|------|------|---|---|
| 計画保全 | 予防保全 | 劣化により建築物の構造躯体の寿命に直接影響を与える部位、故障等した場合に施設利用者の安全性や施設の機能維持に重大な影響を与える設備 | 予防保全の観点から不具合が生じる前に保全を実施する |
| | 監視保全 | 劣化・故障等により建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持に影響するが、事前の兆候を把握することにより対処可能な部位・設備 | 診断や点検結果を注視し、機能停止等の発生前に劣化や不具合の兆候に応じて対応する |
| 事後保全 | | 不具合が生じてから対応しても、建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持への影響が少ない部位・設備 | 劣化の進行や機能停止の発生状況に応じて適宜対処する |

○建築部位・設備ごとの管理分類

| 建築部位・設備 | | | 計画保全 | | 事後保全 |
|---------|--------------------------------------|-----------------------------------|------|------|------|
| | | | 予防保全 | 監視保全 | |
| 建築 | 屋根 | | ○ | | |
| | 外壁 | 外壁 | ○ | | |
| | | 外部天井 | | ○ | |
| | 建具 | 外部建具、自動扉 | | ○ | |
| | | その他建具 | | | ○ |
| 内部 | 内部仕上等 | | | ○ | |
| 電気設備 | 受変電 | 高圧 | ○ | | |
| | 発電・静止形電源 | 非常用発電、交流無停電電源 | ○ | | |
| | | 太陽光発電 | | | ○ |
| | 電力 | 配管配線等、電線類、制御盤、分電盤、OA盤、蛍光灯他 | | | ○ |
| | 中央監視 | 中央監視 | ○ | | |
| 通信・情報 | | LAN、電話、表示、映像、防犯等 | | | ○ |
| | | 自動火災報知 | | ○ | |
| 機械設備 | 空調設備 | 熱源 | ○ | | |
| | | 空気調和機、全熱交換器、空気清浄装置、ポンプ、タンク、ダクト、配管 | | ○ | |
| | 換気設備、排煙設備、自動制御設備、給排水設備、消火設備、昇降機、舞台装置 | | | ○ | |
| 衛生設備 | | | | ○ | |

5 長寿命化実施計画

長寿命化対象建築物ごとの実施計画は次のとおり（詳細は<別紙>参照）。

【単位：千円】

| 施設番号 | 施設名称 | 建物コード | 建物名称 | 建築年 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 |
|---------------|------------|--------|--------------|------|---------------|------|------|------|--------------|---------------|------|------------|--------------|
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | | | | | | | | 400 | 3,998 |
| | | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | | | | | | | | 491 | 4,911 |
| 483 集計 | | | | | | | | | | | | 891 | 8,909 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | | | | | 727 | 7,266 | | | |
| 484 集計 | | | | | | | | | 727 | 7,266 | | | |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 30,289 | | | | 409 | 4,089 | | | |
| | | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 25,628 | | | | 319 | 3,194 | | 90 | 895 |
| 485 集計 | | | | | 55,917 | | | | 728 | 7,283 | | 90 | 895 |
| 総計 | | | | | 55,917 | | | | 1,455 | 14,549 | | 980 | 9,804 |

※ 実施計画の改修費や改修年度は、BIMMS を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

6 長寿命化対策の実施効果

長寿命化対策の今後 50 年間の実施効果は次表のとおり。

【単位：百万円】

| 長寿命化型 | 事後保全型 | 長寿命化対策の実施効果 |
|-------|-------|-------------|
| 1,720 | 4,452 | △2,732 |

※長寿命化型：BIMMS による全建築物の費用推計（50 年間）

※事後保全型：総務省費用推計ソフトによる全建築物の費用推計（50 年間）

長寿命化実施計画（詳細）

| 施設番号 | 施設名称 | 建物コード | 建物名称 | 建築年 | 区分 | 種別 | 分類 | 目標使用年数 | 更新履歴 | 次回更新年 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 計(千円) | |
|------|------------|--------|--------------|------|----------|-----------|------|--------|------|-------|--------|------|------|------|-------|--------|------|------|-------|--------|--------|
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 構造 | 構造躯体 | 予防保全 | 80 | | 2076 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 屋根 | シート系防水 | 予防保全 | 20 | | 2027 | | | | | | | | | 44 | 443 | 487 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 屋根 | 屋根長尺金属板 | 予防保全 | 30 | | 2027 | | | | | | | | | 356 | 3,555 | 3,911 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 外部 | 壁-タイル | 予防保全 | 80 | | 2076 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 外部 | 外壁仕上塗材 | 予防保全 | 15 | H19 | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 建築 建具 | 外部建具 | 監視保全 | 40 | | 2036 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-03 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 1996 | 機械 給排水設備 | 給排水衛生設備 | 監視保全 | 30 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 構造 | 構造躯体 | 予防保全 | 80 | | 2076 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 屋根 | シート系防水 | 予防保全 | 20 | | 2027 | | | | | | | | | 54 | 544 | 598 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 屋根 | 屋根長尺金属板 | 予防保全 | 30 | | 2027 | | | | | | | | | 437 | 4,367 | 4,804 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 外部 | 壁-タイル | 予防保全 | 80 | | 2076 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 外部 | 外壁仕上塗材 | 予防保全 | 15 | H19 | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 建築 建具 | 外部建具 | 監視保全 | 40 | | 2036 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 機械 空調設備 | 空気調和機 | 監視保全 | 20 | H26 | 2034 | | | | | | | | | | | 0 |
| 483 | 富士吉田職員宿舎 | 483-05 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 1996 | 機械 給排水設備 | 給排水衛生設備 | 監視保全 | 30 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 構造 | 構造躯体 | 予防保全 | 80 | | 2072 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 屋根 | シート系防水 | 予防保全 | 20 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 屋根 | 屋根長尺金属板 | 予防保全 | 30 | | 2024 | | | | | 457 | 4,572 | | | | | 5,029 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 外部 | 壁-タイル | 予防保全 | 80 | | 2024 | | | | | 170 | 1,696 | | | | | 1,866 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 外部 | 外壁仕上塗材 | 予防保全 | 15 | H20 | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 外部 | 外壁金属板その他 | 予防保全 | 40 | | 2024 | | | | | 100 | 998 | | | | | 1,098 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 建築 建具 | 外部建具 | 監視保全 | 40 | | 2032 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 機械 空調設備 | 空気調和機 | 監視保全 | 20 | H25 | 2033 | | | | | | | | | | | 0 |
| 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 484-03 | 職員宿舎メイプル飯田 | 1992 | 機械 給排水設備 | 給排水衛生設備 | 監視保全 | 30 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 建築 構造 | 構造躯体 | 予防保全 | 80 | | 2074 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 建築 屋根 | シート系防水 | 予防保全 | 20 | | 2024 | | | | | 90 | 895 | | | | | 985 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 建築 屋根 | 屋根長尺金属板 | 予防保全 | 30 | | 2024 | | | | | 319 | 3,194 | | | | | 3,513 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 建築 外部 | 外壁仕上塗材 | 予防保全 | 15 | | 2019 | 30,289 | | | | | | | | | | 30,289 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 建築 建具 | 外部建具 | 監視保全 | 40 | | 2034 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-01 | 宮前職員宿舎1号館 | 1994 | 機械 給排水設備 | 給排水衛生設備 | 監視保全 | 30 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 建築 構造 | 構造躯体 | 予防保全 | 80 | | 2074 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 建築 屋根 | シート系防水 | 予防保全 | 20 | | 2027 | | | | | | | | | 90 | 895 | 985 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 建築 屋根 | 屋根長尺金属板 | 予防保全 | 30 | | 2024 | | | | | 319 | 3,194 | | | | | 3,513 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 建築 外部 | 外壁仕上塗材 | 予防保全 | 15 | | 2019 | 25,628 | | | | | | | | | | 25,628 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 建築 建具 | 外部建具 | 監視保全 | 40 | | 2034 | | | | | | | | | | | 0 |
| 485 | 宮前職員宿舎 | 485-02 | 宮前職員宿舎2号館 | 1994 | 機械 給排水設備 | 給排水衛生設備 | 監視保全 | 30 | | 2029 | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | 長寿命化対象5棟 | | | 長寿命化対象 | 予防保全 | | | | 55,917 | 0 | 0 | 0 | 1,455 | 14,549 | 0 | 980 | 9,804 | 82,705 | |
| | | | | | | | 監視保全 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | 長寿命化対象施設計 | | | | | 55,917 | 0 | 0 | 0 | 1,455 | 14,549 | 0 | 980 | 9,804 | 82,705 | |

※ 実施計画の改修費や改修年度は、BIMMS を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

施設の建築物等所有状況一覧 (H30.3.31 現在)

| 長寿 対象 化 | 法 定 点 検 | 施 設 番 号 | 施 設 名 称 | 所 在 地 | 建 物 番 号 | 建 物 名 称 | 建 物 種 目 | 建 築 面 積 (㎡) | 延 床 面 積 (㎡) | 建 物 構 造 | (階 数) (地 上) | (階 数) (地 下) | 新 築 日 付 | 築 年 数 | 実 耐 震 状 況 断 | 実 耐 震 補 強 状 況 | 所 管 課 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------|-------------|----------------------------|---------------------------------|---------------|
| | | 480 | 東京事務所職員宿舎(野沢宿舎) | 世田谷区野沢三丁目10-20 | 1 | 東京事務所職員宿舎車庫 | 雑屋建 | 55.02 | 55.02 | RC | 1 | 0 | 1975/10/26 | 42 | 不要 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | ○ | 480 | 東京事務所職員宿舎(野沢宿舎) | 世田谷区野沢三丁目10-20 | 2 | 東京事務所職員宿舎 | 住宅建 | 149.68 | 538.01 | RC | 3 | 1 | 1972/05/15 | 45 | 済 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | ○ | 481 | 東京事務所職員宿舎(下馬宿舎) | 世田谷区下馬六丁目13-16 | 1 | 東京事務所職員宿舎本館 | 住宅建 | 151.87 | 455.63 | RC | 3 | 0 | 1964/06/16 | 53 | 済 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | | 481 | 東京事務所職員宿舎(下馬宿舎) | 世田谷区下馬六丁目13-16 | 2 | 東京事務所職員宿舎物置 | 雑屋建 | 9.30 | 9.30 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1964/06/16 | 53 | 不要 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | | 481 | 東京事務所職員宿舎(下馬宿舎) | 世田谷区下馬六丁目13-16 | 3 | 東京事務所職員宿舎自転車置場 | 雑屋建 | 21.00 | 21.00 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1964/06/16 | 53 | 不要 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | | 481 | 東京事務所職員宿舎(下馬宿舎) | 世田谷区下馬六丁目13-16 | 4 | 東京事務所職員宿舎物置 | 雑屋建 | 5.07 | 5.07 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1981/03/02 | 37 | 不要 | 不要 | 知事政策局政策企画グループ |
| | ○ | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 8 | 音羽職員宿舎新い号館 | 住宅建 | 232.28 | 664.16 | RC | 3 | 0 | 1993/11/18 | 24 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 9 | 音羽職員宿舎は号館 | 住宅建 | 232.28 | 885.54 | RC | 4 | 0 | 1996/02/20 | 22 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 10 | 音羽職員宿舎 新ろ号棟 | 住宅建 | 232.28 | 885.54 | RC | 4 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 11 | 音羽職員宿舎新ろ号館 集会場 | 事務所建 | 34.78 | 34.78 | 木造 | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 12 | 音羽職員宿舎新ろ号館 物置 | 倉庫建 | 57.60 | 57.60 | RC | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 13 | 音羽職員宿舎新ろ号館 自転車置場1 | 雑屋建 | 9.70 | 9.70 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 14 | 音羽職員宿舎新ろ号館 自転車置場2 | 雑屋建 | 6.50 | 6.50 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 15 | 音羽職員宿舎新ろ号館 自転車置場3 | 雑屋建 | 6.50 | 6.50 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 16 | 音羽職員宿舎新ろ号館 自転車置場4 | 雑屋建 | 6.50 | 6.50 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 17 | 音羽職員宿舎新ろ号館 ゴミ置場 | 雑屋建 | 2.40 | 2.40 | RC | 1 | 0 | 1998/03/15 | 20 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 482 | 音羽職員宿舎 | 甲府市音羽町4 | 18 | 音羽職員宿舎に号館 | 住宅建 | 232.28 | 885.54 | RC | 4 | 0 | 1994/12/15 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 483 | 富士吉田職員宿舎 | 富士吉田市上吉田4丁目213-4 | 3 | 富士吉田職員宿舎 世帯棟 | 住宅建 | 299.69 | 1,148.64 | RC | 4 | 0 | 1997/03/07 | 21 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 483 | 富士吉田職員宿舎 | 富士吉田市上吉田4丁目213-4 | 4 | 富士吉田職員宿舎 倉庫 | 倉庫建 | 69.12 | 69.12 | CB | 1 | 0 | 1997/03/07 | 21 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 483 | 富士吉田職員宿舎 | 富士吉田市上吉田4丁目213-4 | 5 | 富士吉田職員宿舎 単身棟 | 住宅建 | 368.19 | 709.63 | RC | 2 | 0 | 1997/03/07 | 21 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 483 | 富士吉田職員宿舎 | 富士吉田市上吉田4丁目213-4 | 6 | 富士吉田職員宿舎 ポンプ室 | 雑屋建 | 20.94 | 20.94 | RC | 1 | 0 | 1997/03/07 | 21 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 483 | 富士吉田職員宿舎 | 富士吉田市上吉田4丁目213-4 | 7 | 富士吉田職員宿舎 駐輪場 | 雑屋建 | 5.76 | 5.76 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1997/03/07 | 21 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 甲府市飯田三丁目6-54 | 3 | 職員宿舎メイプル飯田 | 住宅建 | 385.45 | 1,374.71 | RC | 4 | 0 | 1992/10/31 | 25 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 484 | 職員宿舎メイプル飯田 | 甲府市飯田三丁目6-54 | 4 | 職員宿舎メイプル飯田 電気室 | 住宅建 | 12.35 | 12.35 | RC | 1 | 0 | 1992/10/31 | 25 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 1 | 宮前職員宿舎1号館 | 住宅建 | 302.95 | 1,438.10 | SRC | 5 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | ○ | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 2 | 宮前職員宿舎2号館 | 住宅建 | 302.95 | 1,150.48 | SRC | 4 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 3 | 宮前職員宿舎1号館物置 | 倉庫建 | 77.76 | 77.76 | CB | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 4 | 宮前職員宿舎1号館物置 | 倉庫建 | 8.64 | 8.64 | CB | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 5 | 宮前職員宿舎1号館ポンプ・電気室 | 倉庫建 | 25.50 | 25.50 | CB | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 6 | 宮前職員宿舎1号館自転車置場 | 雑屋建 | 5.76 | 5.76 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 7 | 宮前職員宿舎1号館自転車置場 | 雑屋建 | 5.76 | 5.76 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 8 | 宮前職員宿舎1号館自転車置場 | 雑屋建 | 14.40 | 14.40 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1995/01/30 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 9 | 宮前職員宿舎2号館物置 | 倉庫建 | 69.12 | 69.12 | CB | 1 | 0 | 1994/12/27 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 10 | 宮前職員宿舎2号館自転車置場 | 雑屋建 | 5.76 | 5.76 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1994/12/27 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 11 | 宮前職員宿舎2号館自転車置場 | 雑屋建 | 5.76 | 5.76 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1994/12/27 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 12 | 宮前職員宿舎2号館自転車置場 | 雑屋建 | 11.52 | 11.52 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1994/12/27 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 485 | 宮前職員宿舎 | 甲府市宮前町5-13 | 13 | 宮前職員宿舎ゴミ置場 | 雑屋建 | 7.01 | 7.01 | CB | 1 | 0 | 1995/03/10 | 23 | 不要 | 不要 | 総務部財産管理課 |
| | | 487 | 吉田地区教職員住宅 | 富士吉田市上吉田5469 | 2 | 物置 | 倉庫建 | 60.00 | 60.00 | CB | 1 | 0 | 1997/11/28 | 20 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 487 | 吉田地区教職員住宅 | 富士吉田市上吉田5469 | 3 | 自転車置場 | 雑屋建 | 14.20 | 14.20 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1997/11/28 | 20 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 487 | 吉田地区教職員住宅 | 富士吉田市上吉田5469 | 4 | ゴミ置場 | 倉庫建 | 2.40 | 2.40 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1997/11/28 | 20 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | ○ | 487 | 吉田地区教職員住宅 | 富士吉田市上吉田5469 | 5 | 吉田地区教職員住宅 | 住宅建 | 324.82 | 1,329.51 | RC | 5 | 0 | 1997/11/28 | 20 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | ○ | 488 | 上野原高等学校教職員住宅 | 上野原市松留社寺原 | 1 | 上野原地区教職員住宅 | 住宅建 | 223.00 | 671.15 | RC | 3 | 0 | 1981/02/26 | 37 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 488 | 上野原高等学校教職員住宅 | 上野原市松留社寺原 | 2 | 物置 | 雑屋建 | 45.15 | 45.15 | CB | 1 | 0 | 1981/02/26 | 37 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 488 | 上野原高等学校教職員住宅 | 上野原市松留社寺原 | 3 | 自転車置場 | 雑屋建 | 7.00 | 7.00 | 鉄骨造 | 1 | 0 | 1981/02/26 | 37 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 488 | 上野原高等学校教職員住宅 | 上野原市松留社寺原 | 4 | プロパン庫 | 雑屋建 | 5.93 | 5.93 | CB | 1 | 0 | 1981/02/26 | 37 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | ○ | 490 | 都留地区教職員住宅 | 都留市十日市場972 | 1 | 都留地区教職員住宅 | 住宅建 | 311.17 | 1,258.18 | RC | 4 | 0 | 1973/03/01 | 45 | 済 | 不要 | 教育庁福利給与課 |
| | | 490 | 都留地区教職員住宅 | 都留市十日市場972 | 2 | 物置 | 倉庫建 | 90.74 | 90.74 | CB | 1 | 0 | 1973/03/01 | 45 | 不要 | 不要 | 教育庁福利給与課 |